

大阪府知事選挙結果について

さらに民主主義と住民自治を 取り戻すためにがんばります

11月22日に投票がおこなわれた大阪府知事・大阪市長選挙で、日本共産党が自主的に応援した栗原貴子知事候補は激戦を制することができませんでした。

今回のダブル選挙は、5月の大阪市における「住民投票」で「大阪都」に「ノー」の審判が下され、橋下氏が「政界引退」を表明するも、これからの大阪の進路が問われるものでした。

大阪府政では「維新政治」を終わらせ、民主主義と住民自治を取り戻すことが最優先の課題であり、ここに大阪における大義がありました。

日本共産党は「明るい民主大阪府政を作る会」の皆さんとともにたたかいぬきました。大阪市つぶし・暮らし破壊の「大阪都」構想や「何でも民営化」のごり押し、民主主義破壊という「異質の危険」を持つ「維新政治」に終止符を打つという府民的大義にたった、「オール大阪」の共同が大きく広がりました。

しかし候補者決定の遅れや、日本共産党の自主的支援への戸惑いやためらいも残されました。

「大阪維新」側はまともな政策論争を避けて「自民党、民主党、共産党の野合」批

判、「過去に戻すな」の訴えに終始し、「維新政治」への批判をそらす戦術を取っていました。

選挙結果が示した民意は、大阪の現状、暮らしの切実さを変えたいという前向きのものであり、「維新政治」がすすめてきた、暮らし破壊、民主主義と住民自治破壊の道が支持されたものではありません。結果は「維新政治」の継続を許すものになりましたが、府民の利益と相いれない「維新政治」の矛盾の深刻化は避けられません。

日本共産党は、選挙戦を通じて寄せられた、皆さんの切実な要求、学校警備員・部活動指導者の予算削減、子ども医療費助成全国ワースト状態、35人学級が小学校2年生までしか実施されていない、水無瀬川の防災対策の遅れ、等々にこたえて府議会・町議会で、また町民運動でも役割を果たしていきます。

「維新政治」の危険性とあわせて、真の大阪の改革の方向を訴えて直面する参議院選挙での躍進に全力を尽くす決意です。

河野 恵子
佐藤 和子

大阪府知事選挙島本町開票結果 投票率50.98% 投票総数 12468

	得票数	率
くりはら貴子	4108	33.49%
松井 一郎	7781	63.42%
美馬 幸則	379	3.09%
合計	12268	100%

日本共産党がみなさんにお届けします

島本民報

2015年11月29日号 (通巻 第1391号)

発行：日本共産党・島本町委員会
TEL・FAX 962-4003

【連絡先】
かわの恵子 水無瀬2-3-3-506
☎ 962-1708
メール：k3kawano@yahoo.co.jp

佐藤かずこ 若山台1-2-48
☎ 962-6103
メール：satokiki0815@yahoo.co.jp

いよいよ12月議会

公共施設のあり方は 住民の総意で決めよう

佐藤和子の一般質問の予定

- 島本町民に必要な公共施設は？
町で公共施設総合管理計画(公共施設の圧縮)、まち・ひと・しごと創生総合戦略(島本町における人口減少問題と地域活性化にとりくむためのもの)がつくられます。住民参加での策定を求めます。

障がいのある子どもたちに 教育保育の充実を

河野恵子の一般質問の予定

- 支援教育の充実を
島本町では(通級指導教室)第三小・第一中各校1学級ずつ設置されています。1学級に専任の教諭は一人。第三小では20人を超えるLD・ADHDなどの児童がマンツーマンで教育を受けています。(週1回から月1回)東京都では独自の加配により児童生徒10人に対し教員一人の体制をとっています。
- 障害児保育(枠)の拡充を 他



12月14日(月)・15日(火)の予定で、町議会定例会議が開かれます。
日本共産党町会議員団としては上のテーマでの一般質問を予定しています。
ご意見、要望をお寄せください。
また傍聴にもおいでください。